

第三級アマチュア無線技士 講習会体験記



これが第三級アマチュア無線技士の従事者免許だ。

5月に第三級アマチュア無線技士(以下3アマ)の講習会, 第三級短縮コースを受講してきました。第四級アマチュア無線技士(以下4アマ)を取得してからすでに12年の月日が流れ, そろそろ上級資格でも取得してみようかな, という動機で3アマ講習会の受講を思い立ちました。今回はそのときの講習会受講レポートをお伝えします。

7N3UCN 上坂 新
Arata Uesaka

睡眠は大切です

講習会前日, いつもより仕事が忙しく睡眠時間は4時間ほどしか取れませんでした。

自宅を出たのは朝の午前7時30分頃で, 講習会が行われる東京・巣鴨のJARDまで電車で目指します。

思いのほかスムーズに電車の乗り継ぎがあり, JR巣鴨駅に到着したのは午前8時20分頃でした。

とりあえず講習会が始まる午前9時までは, 講習会場近くのファーストフード店で過去に出題された問題を復習したりコーヒーを飲みながらの一服タイムです。

それにしても睡眠時間が取れなかったせいで眠い…。講習会前日は睡眠をしっかり取るようにしておいたほうが良さそうです。

講習会は大盛況

午前8時50分になったので, 会場となるJARDの講習会会場のドアを開けると, すでに60人ほどが会場に来ており, 3アマ講習会の盛況ぶりをかいま見ることができました。定員は確か50名だったと思いましたが, 定員を超えて60名ほどの受講者の方がいます。

今回の受講者の年齢層は予想外に高く, 下は40代から, 上は70代と思われる方も見受けられます。そんな中でどうやら私は最年少ではないかと思われました。

講習会の受け付けを済ませ, 受講前にトイレに行くと長蛇の列です。60人以上の受講者なのにトイレが1か所しかないので大渋滞です。中にはアブラ汗を流しながら個室のドアを激しくノックする方もいました。時間には余裕をもって来場し, 講習会の始まる前にトイレは済ませておいたほうが良さそうです。

忘れ物に注意

いよいよ3アマの講習会が始まる午前9時です。

まずは講習会を受けるにあたっての諸注意が講師の方からあり, その後, 配布された書類を試験官の注意にしたがって記入しました。すると受講者からの質問の嵐が…。

「すみませ〜ん, 証明写真がうまく貼れません」とか。「住民票も住民番号も持って来てませんでした」とか。「切手を持ってきませんでした」なんていう質問ばかりです。

講習会を受けるにあたって, JARDから事前送付されてきた書類には, 受講時に必要な書類はすべて記入されています。事前に必要書類をチェックしておくことをお勧めします。

講師はベテラン

書類の記入も終わり, やっとのことで講習会が始まりました。講師の方は超ベテランらしく, まるで大手進学予備校の講師のように笑いを交

えながらわかりやすくかつ, 的確な指導で講習を進めていきます。あまりの楽しさに睡魔も吹き飛んでしまうほどです。

学生のときの先生もこんな感じで授業を進めてくれていたら…と, 思っていました。

緊張感でピリピリ

そんな雰囲気の中で, 6時間ものおよぶ講習会が終わり, 模擬試験の時間になりました。結果は無線工学, 法規とも満点です。

模擬試験を3回繰り返し, 間違ったところは講師の方がわかりやすく解説してくれます。それでも数分前に解説された問題を忘れる方が続出です。緊張のせいか, 簡単な問題であっても忘れる方が多いことに, ピリピリする反面, こちらにもその方たちの緊張感が伝わってきます。

修了試験です

模擬試験も終わり, いよいよ修了試験となりました。修了試験は, 国家試験に相当するもので非常に緊張感あふれる雰囲気の中で始まりました。

修了試験は, 超ベテラン講師のわかりやすい講習の成果もあり, 試験の制限時間は1時間に対して, わずか5分ほどで無線工学と法規の問題をクリアしてしまいました。

修了試験の解答を何回も見直していると「終了された方は退室されても結構です」とのこと。

こうして3アマ講習会、最大の山場である修了試験は意外とあっけなく終わってしまいました。

合格発表

3アマの合格発表は、インターネットでも見ることができます。さっそくJARDの合格発表サイトにアクセスし、閲覧してみると「あなたは合格です」という結果でした。

合格発表から2週間ほどしたある日のこと、郵便受けに一通の封筒が届きました。差出人はJARDからでした。

さっそく封を切ってみると「おめでとうございます」と書いたパンフレットが入っています。

さらに封の中身には白く輝く「第三級アマチュア無線技士の無線従事者免許証」が同封されていました。

先日、インターネットで合格発表は確認していましたが、現物の無線従事者の免許が届くまで非常に不安があったので、この感動といったらなんともいえません。これで私も3アマの仲間入りです。

講習会を終えて

賛否両論の講習会ですが、すでに



JARDの講習会会場前、講習を終えての撮影だが、まだ緊張した面持ちは否めない。試験の結果が気になるころ。

4アマの免許をお持ちで、3アマの資格を取得されようとお考えでしたら講習会をお勧めします。

超ベテラン講師の方から、難解な試験問題をわかりやすく丁寧に教えてもらえます。

講習会の受講費用は、国家試験を受験されるよりも数千円高いのですが、プロの方に教えていただく機会にも恵まれ勉強することができました。直接国家試験を受けることを考えれば、勉強法など、仕事の合間にはなかなか国家試験対策も進まないところを講習会という勉強せざるを

得ない環境に身を置くことは、効率的な試験対策ともいえます。

すでに12年ほどアマチュア無線を楽しんでいますが、忘れていたことや勘違いしていたことが結構あることに驚きました。

3アマの取得方法は、国家試験と講習会の二通りありますが、どちらの方法で取得しても3アマの免許には変わりありません。運用を始めてからがアマチュア無線です。

今後は3アマの名に恥じないようなアマチュア無線の運用を常日頃から心がけたいと思います。

06 >>> 懐かしのアマチュア無線機

アイコム IC-551 発売年月：昭和53年12月 販売価格：¥89,800



発売当時としては非常に独特なデザインを採用したIC-551。HF(IC-720)から50MHz(IC-551/D)、144MHz(IC-251)、430MHz(IC-351)とそれぞれ統一されたデザインでラインナップも完成されている

サイクル21のピーク前となる昭和53年にアイコムが発売した50MHzの傑作トランシーバがIC-551です。

IC-551は発売当時としては実験的な試みが至るところに取り入れられ、この無線機でハイテク装備のアイコムというイメージを持たれた方も多いのではないのでしょうか。

そのハイテクの一番がメイン・ダイヤルに採用された周波数制御方式に見ることができます。

IC-551のVFOは、メイン・ダイヤルの回転をロータリー・エン

コーダによりパルス信号として取り出し、これをカウントしてPLLを制御するという当時としては斬新な設計思想として受け取れます。

ハイテク装備を充実させる一方で、FMユニットやPBTユニットなどはオプションとし、入門バンドとしての50MHzユーザーへの販売価格を下げるといった販売戦略もぬかりなく行っていました。

また、50W出力機のIC-551Dをラインナップに加えたのもIC-551が初めての試みでした。